

育成牛共進会で 新富が表彰独占



横山穂積さん
(新富)

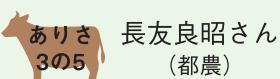
第1類 優等賞



横山穂積さん
(新富)



松本聰司さん
(新富)



長友良昭さん
(都農)

第2類 優等賞



森山延幸さん
(新富)



甲斐栄さん
(川南)



…牛の名号
…新富町の牛

※第1類は生後12か月以上17か月未満のメス、
第2類は生後17か月以上22か月未満のメス。

10月2日、第9回児湯郡育成牛共進会が行われました。児湯郡および西都市内から、第1類が10頭、第2類が6頭の計16頭が出品されました。優等賞5頭のうち、3頭が新富町からの出品で、なかでも最も優れたグランドチャンピオンに、横山穂積さんの牛が選ばれました。

→横山穂積さんのインタビューは今月の新富人に掲載



開催が直前まで危ぶまれ、手入れが間に合うか心配だったので、優等賞を取れて嬉しいです。
(松本聰司さん)



毛を整えるためにバリカンを入れた時点で「勝った」と思えるほど、イメージどおりに育ってくれました。

(森山延幸さん)



レッシ農業!!

【謎解きはトマトができるあとで】

まるでブドウのような房状の実はミニトマト。赤く丸く太らせるため、季節や天候に合わせてこまめに水や肥料を調節し、実の近くの葉を剪定して当たりを良くします。どんな手入れが正しいのか、毎日悩み、考えながら世話をするので、真っ赤な実がたくさんできた時は、「あなたの世話の仕方で正解だよ」とトマトが褒めてくれているよう。だからさらなる正解を求めて、挑戦したくなるのです。

①2つの季節がぎゅっと詰め込まれていますね。上五や下五を自分がした具体的な動作に入れ替えると、よりいい句になります。②大きく見える満月の表面をしつかり観察できた、そんな喜びが伝わってきます。③神輿を担いだのでしょうか、地区的絆の強さが伺えます。表記がグッド!④おもしろい発想です!とても赤い夕陽だったのだろうと、情景も作者の気持ちも想像できます。

- ① 夏おわりひぐらしないてもう秋だ
- ② うさぎさんもちつきして満月だ
- ③ てんさいだ一致団結日置の男
- ④ たいようがうめぼしのようにおいしそう

三木ひな

日置男子

垣迫日陽

片山穂香

俳句・川柳募集
句と川柳のコーナー係までFAX
(33・4862)ください。

俳句・川柳募集
H.P.の投稿フォームに
てご応募ください。または新富町役場俳
句と川柳のコーナー係までFAX
(33・4862)ください。